

第43号 発行：平成30年10月

松浦武四郎記念館友の会

会員数：190名(平成30年9月末現在)

(家族会員=18名、個人会員=172名)

発行責任者：飯田 秀

松浦武四郎記念館友の会



友の会だより

友の会事務局：松阪市小野江町383

松浦武四郎記念館内

「友の会」のHPは、松阪市の中にあります。

<http://www.city.matsusaka.mie.jp/site/takesiro/tomonokai.html>

武四郎の業績より、生き方・処世術を

会員 喜畑 雄介



平成19年【2007年】趣味のひとつ郷土史研究の友人から、旧三雲町に松浦武四郎というユニークな人物がいて、恐らく喜畑さんの性格なら武四郎という人物に「はまるよ」と言われ、松浦武四郎記念館友の会に入会しました。武四郎を知れば知るほど「はまっていった」状況を述べます。

1. 友の会のメンバーと親睦を兼ねての武四郎と関わりのある北海道への研修旅行。

平成24年【2012年】『平成30年松浦武四郎生誕200年への会』武四郎の足跡を訪ねる旅、札幌ピリカコタンでアイヌの人たちと歌ったり踊ったりしての交流、

平成30年【2018年】『松浦武四郎生誕200年記念事業実行委員会』松浦武四郎生誕200年記念事業 北海道の旅、武四郎で結ばれている芝桜で有名な滝上町のしょこつ川連絡研究会の皆さんと交流会等に参加させていただきました。

2. 記念館では毎月第2日曜日午前10時から「武四郎講座」が開催されています。

私が初めて参加したのは2007年6月10日の「松浦武四郎と大台ヶ原」という演題でした。

武四郎は68歳(明治18年【1885年】)に初めて大台ヶ原登山。私の趣味のひとつが、トレッキングで、高校1年生の時初めて登ったのが3泊4日の大台ヶ原縦走。この日から、私と武四郎の共通点から気になる人物のひとりとなり、毎月の武四郎講座のメイン講師の山本命主任学芸員から武四郎の多面に渡る人物像を紹介され、また、山本命主任学芸員の伸びしろのある講演力。人を引き付ける内容に毎月第2日曜日が待ち遠しい日になりました。

3. 武四郎と私自身のライフワークとの共通点

武四郎は北海道の調査時には、「野帳」という愛用のメモ帳を持ち、土地の様子やアイヌ民族の暮らし等を克明に記録しましたが、私自身学生時代から現在にいたるまで、手帳のメモ帳持ち歩き、ある場所ある人の印象を感じたことをその日にメモする習性があること。40代から始めたマラソンがあり、20年以上足腰を鍛えた財産を生かして、日常は時間に追われ、行先は電車・車を使いますが、休みの日は時間がある時は、目的地まで10km・20kmの道のりを普段見ない風景を見ながら「歩く」ことから、故田畑美穂先生から学んだ「気づき・発見・感謝」を会得することができる。とにかく「歩く」ことが楽しいという習性。

4. 先輩からの人生へのヒントと後輩へ望むこと

現在、私は終活セミナー等にてエンディングノートについて語ることが多いが、私自身の70歳からのセカンドライフをどのように過ごしたいか構想を練るに、武四郎に熱烈な高瀬英雄元館長、武四郎にひたむきな姿勢の佐藤貞夫先生、武四郎に奉仕の精神で捧げる飯田秀友の会会長等人生の先輩からヒントを得ております。

若い世代の人には、これからの共生社会に向けて、武四郎の生き方・処世術を学び、郷土の偉人として誇りが郷土愛を育み、松阪の財産となることを祈念申し上げます。

僕の歩んできた道に
興味を持ってくれて
ありがとう！！



武四郎が奉納した神鏡を訪ねる旅の報告

「武四郎が天満宮に奉納した神鏡を訪ねる旅」を9月3日に40名の参加で実施しました。今年、聖跡二十五霊社順拝雙六の内第5番目の長岡天満宮と龍安寺、下鴨神社を訪ねました。行きのバス車内では、田中副会長の進行で、飯田会長の挨拶・行き先の由緒等の説明をしていただき、中野館長からは聖蹟二十五霊社について詳しく説明して頂きました。

前日は雨で、台風21号も近づいていましたが良い天候で、旅を終えることができました。参加された村田恵理子さんに感想文をいただきました。

松浦武四郎翁ゆかりの神鏡を訪ねる旅に参加して

会員 村田恵理子

私は平成27年の北野天満宮の大神鏡を訪ねる旅に初めて参加させていただき、武四郎が奉納した「大神鏡」を間近に見せてもらうことができ、その大きさと立派さに感動しました。それ以後毎年この神鏡を訪ねる旅に参加させていただくのを楽しみにしています。今回の長岡天満宮（聖跡五番）は平成22年にも行かれたそうですが、再度計画していただきうれしかったです。

9月3日（月）はおりしも明日は大型台風21号が東海地方に近づくと予報されていましたが、今日は上天気です。暑い日でしたが、お天気に恵まれて総勢40名の楽しい旅になりました。

バスで長岡天満宮に着くと、大きな鳥居をくぐり、八条ヶ池の橋を渡って参道を進むと本殿の前に出てきます。参拝した後、神殿のなかに入れていただき、宮司さんから長岡天満宮のお話、お祓いを受け、武四郎の奉納した「神鏡」を見せていただきました。奉納され100年近くたっているのにピカピカのきれいな神鏡で大切に保管されていました。改めて武四郎の天満宮信仰の深さが感じられて感銘を受けました。天満宮で参拝記念として「黄金塩」をいただき、皆で集合写真を撮りました。



長岡天満宮の神鏡

お昼は「八つ橋庵」で京料理を頂き、3階に設けられている「ししゅう美術館」が無料で見ることができ、素晴らしい刺繍が沢山展示されていました。午後は世界遺産の龍安寺と下賀茂神社を散策しました。下賀茂神社では夏の特別公開で、国宝の2棟（賀茂建角身命＝かもたけつのみこと、玉依媛命＝たまよりひめのみことを祀る2棟の本殿）を特別参拝所から間近で拝観し、丁寧な案内を受けることができました。他に重要文化財「大炊殿」なども公開されていました。

今回も有意義な一日の旅、ありがとうございました。役員の皆様、本当にお世話になりました。



長岡天満宮本殿前で記念写真



龍安寺の石亭



下鴨神社山門

友の会主催武四郎講座の報告

7月8日(日)の武四郎講座は「大杉谷と武四郎」をテーマに大杉谷地域おこしの会代表の村田稔区長さんを講師に迎えて開催しました。

武四郎が大杉谷を通った時の村落の状況やその後ダム湖に沈んでしまった住宅の様子、大杉谷の将来に対する想いを強く語られました。



講師の村田稔区長さんと奥様

松阪の偉人たち展の報告

恒例となった「松阪の偉人たち展」(松阪偉人顕彰団体協議会主催)は第4回目となり、7月4日～8日に松阪市文化財センター第1～第3ギャラリーにて開催され多くの方が来場されました。

今年の偉人は蒲生氏郷、大淀三千風、本居宣長、松浦武四郎、大谷嘉兵衛、原田二郎、東畑精一などでした。

更に、「長尾オルガン」を使って越知愛幸子さんが演奏をされ、曲に合わせて来場者と共に合唱するなど多に楽しみました。

小学校の生徒を対象に募集した「俳句」「川柳」の展示を第三ギャラリーで行い、最終日には表彰式を行いました。

※長尾オルガンとは、松阪の長尾製作所で作られた日本最古の和製オルガンです。



多くの来場者と合唱



演奏する越知さん

「松浦武四郎生誕 200 年記念」

北海道への使節団参加報告

今回の旅は「武四郎生誕 200 年」「北海道命名 150 年」を記念して行われたもので、6月25日～28日までの3泊4日の旅で、25名の参加でした。主な内容を報告します。

①25日は渚滑川(しよこつがわ)流域連携研究会(滝上町・紋別市)の方々との交流会では、武四郎が蝦夷地探査の為渚滑川流域を訪れた日時と場所等について詳しく研究されており、武四郎が当時の状態について記録して残したことに感謝しておられていることが理解できました。現在住んでおられる方の先祖は、明治初期に土佐、新潟、大阪、富山などから移住してきたとのことでした。

②26日は、ウトロで190年記念の旅でも訪れました。前回同様「武四郎の碑」を確認し、「知床旅情の碑」の前では参加者全員で「知床旅情」を合唱しました。



渚滑川流域連携研究会の方々と



ウトロの「武四郎の碑」を囲んで

③27日は野付と根室で生憎の雨模様でした。野付ネイチャーセンターで石渡学芸員から説明を受け、砂州の状況について理解できました。根室は歯舞諸島の各島が本当に近いという実感でした。

根室では北方館で説明を聞き、歯舞諸島が置かれている状況について理解できました。

夜には多楽島の元住人達との交流会があり、生の思いを聞くことができました。

野付、根室に於いては北海道新聞社の取材を受け、28日の新聞に記事が掲載され、多くの参加者が早速買い求めていました。



多楽島の元住人達と交流会の後で集合写真

今回の旅が、松阪市と北海道の交流が更に深ることを願っています。(稲垣 記)

友の会活動展示

8月1日～31日の間、松阪市市民活動センター(カリヨンビル3階)において、大杉谷への武四郎看板除幕式の写真展等友の会の活動の写真展示を行いました。この内容は松阪市ケーブルテレビで放映、中日新聞、夕刊三重新聞、アロマ情報紙等で市民に発信されました。



展示の状態

【記念館よいのお知らせ】

- ☆生誕200年記念講座のご案内 ※下記は予定ですので、変更になる場合があります
- 第8回 11月11日(日)10:00～ 河治和香先生と本田優子先生(札幌大学教授・副学長)
- 第9回 12月9日(日)10:00～ 河治和香先生と安村敏信先生(萬美術屋)
- 第10回 1月13日(日)10:00～ 河治和香先生と平野英夫さん(基角堂、江戸古物蒐集家)
- ※会場は、いずれも松浦武四郎誕生地で、お二人のトークセッションを行います。
- ※10月14日(日)は、武四郎フォーラムの為お休み。※お車は記念館に駐車してください。

☆展示のご案内

- ◆武四郎の古銭収集 ～ 11月4日(日)まで
武四郎の実家に残されていた武四郎に関する資料を初公開します。
- ◆錦絵の世界 11月6日(火) ～ 1月14日(日)まで

☆10月13日(土)武四郎フォーラム 12:30 開場 13:30 開会 入場無料

会場：クラギ文化ホール

- 内容：基調講演 「未来から来た人」高橋源一郎さん(作家、明治学院大学教授)
子供たちの取り組み 小中学校生による武四郎への手紙の紹介、学習発表
他の、出演者：ヘンリー・スミス、佐々木利和、岸俊光(毎日新聞編集編成局)、山本命
- ※武四郎の写真で首に掛けている「大首飾り」のレプリカが完成し、フォーラム当日にお披露目される予定です。

【友の会よいのお知らせ】

- ☆恒例となっている市政バスツアーを12月14日(金)に実施する予定です。
今年の見学先は、歴史民俗資料館、みえこどもの城、小津安二郎青春館です。ご期待ください。